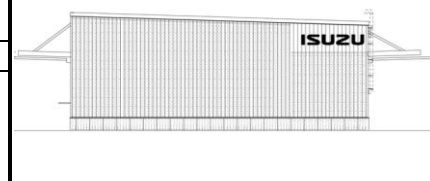


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)いすゞ自動車首都圏藤沢SC新築工事	階数	地上2F
建設地	藤沢市内行二丁目19番2の一部及び3の一部	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	57人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,250時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2016年3月31日
敷地面積	10,564 m ²	作成者	清水建設(株)
建築面積	2,192 m ²	確認日	—
延床面積	2,507 m ²	確認者	—



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	79%
③上記+②以外の	79%
④上記+	79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

機能性	耐用性・信頼性	対応性・更新性
N.A.	3.0	4.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境	まちなみ・景観	地域性・アメニティ
2.0	3.0	3.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

建物外皮の熱負荷	自然エネルギー	設備システム効率化	効率的運用
N.A.	3.0	4.0	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

水資源	非再生材料の使用削減	汚染物質回避
3.4	3.2	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.6

地球温暖化への配慮	地域環境への配慮	周辺環境への配慮
3.8	4.0	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
いすゞ自動車藤沢工場に近郊に自動車修理工場を建設します。近隣住民及び環境を配慮し、敷地境界には植栽を配置計画します。	—
Q1 室内環境	Q3 室外環境(敷地内)
—	緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LR3 敷地外環境
LED照明の採用により、エネルギーの削減を図った。	ライフサイクルCO ₂ 排出率を79%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。
Q2 サービス性能	LR2 資源・マテリアル
耐用年数の長い設備配管の採用により、建物の長寿命化を図っている。	節水型便器や擬音装置の採用により、水資源の保護に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される